

資料（2024.5.10）

田植えの進捗状況（5月9日現在概況速報）について

農業普及技術課 農業革新支援担当

1 田植えの進捗状況（県内農業改良普及センターによる一斉調査）

- (1) 5月9日現在、県全体の田植え進捗率は10%となっています。地帯別では、北上川上流2%、北上川下流14%、東部17%、北部0%となっています。
- (2) 耕起・代かき等のほ場準備は順調に行われており、県全体の田植えは5月11日頃から本格化し、概ね適期に作業が行われる見通しです。

表 地帯別田植えの進捗状況（5月9日現在、各農業改良普及センター調べ）

地帯名	田植え進捗率 (%)				田植え時期 (月/日)		
	本年	過年次			平年値		
		R5	R4	R3	始期	盛期	終期
北上川上流	2	0	1	1	5/15	5/20	5/26
北上川下流	14	11	14	16	5/9	5/15	5/22
東 部	17	17	13	16	5/11	5/16	5/23
北 部	0	0	0	0	5/19	5/23	5/28
県 全 体	10	8	10	11	5/11	5/17	5/23

- 1) 平年値は平成26年～令和5年の10カ年平均
2) 始期：10%終了、盛期：50%終了、終期：90%終了
3) 県全体の数字は、各地帯の作付面積比による加重平均

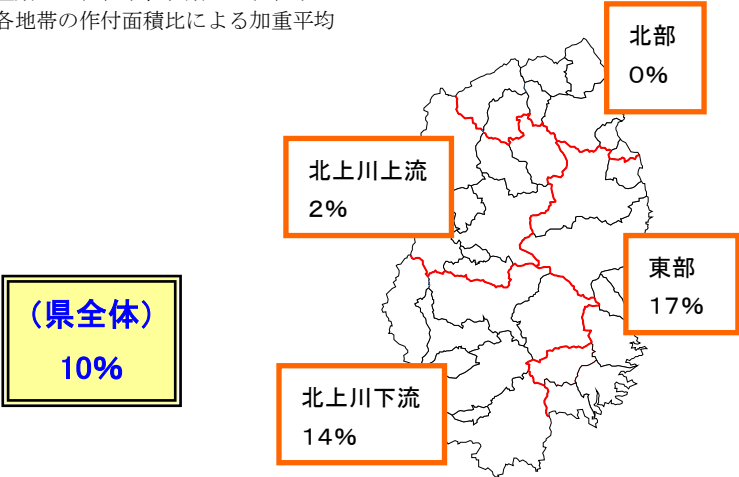


図 地帯別田植え進捗率（5月9日現在：各農業改良普及センター調べ）

2 当面の技術対策

- (1) 田植え作業
- 田植え適期 . . . 北上川下流：5月10～20日、その他地域：5月15～25日
⇒ できるだけ風の少なく暖かい日を選択
 - 植付深 . . . 稚苗2cm、中苗2.5～3cm程度
 - 栽植密度 . . . 極端な疎植を避ける
⇒ 特に「金色の風」「銀河のしずく」は60～70株/坪を遵守
- (2) 田植え直後の管理
- 葉先が2～3cm水面に出る程度の深水管理で苗を保護する（活着までの目安：概ね3～4日）。
- (3) 活着後の管理
- 分げつ促進のため、浅水管理を基本とする（気温15℃以下または強風の日、葉先が水面に出る程度の深水管理で苗を保護）。